

科目名称 (Course Title)				担当教員(Instructor)	
臨床栄養学				野間 智子	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2単位	2年次	集中講義	有 ( 名)・無	科目等履修 ・ 聴講
授業の概要 (Course Description)					
<p>診療情報管理士は、診療で得られた情報を管理・分析し、活用することで医療の質の向上、安全管理、および病院経営等に貢献する専門家である。医療のIT化が進み、医療での診療情報管理の重要性が増している。臨床栄養学の現場では、NST（栄養サポートチーム）をはじめとして、チーム医療の中でそれぞれが専門的な知識を持ち寄り、質の高い栄養管理が行われている。栄養管理は治療の基本であり、医療チームを構成する多職種すべてに基本的な栄養管理能力が求められている。そこで、本授業では栄養管理の概念を理解し、一連の栄養管理業務（アセスメント→プランニング→実施→モニタリング）について学習する。また、病態に応じた栄養ケアについての知識を深め、発表へとつなげる。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>本講義の目的は、栄養管理を総合的に理解することである。そのために下記の2点を到達目標とする。</p> <p>①栄養アセスメント、栄養ケアプランの基本を学び、説明できる</p> <p>②病態に対応した栄養ケアを理解し、発表できる</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	第1章	栄養ケアの基礎	発表 (プレゼン) のテーマ決め		
第 2 回	第2章	栄養アセスメント	講義		
第 3 回	第2章	栄養アセスメント	実習		
第 4 回	第3章	栄養ケアプランの実施 (1)	栄養ケアプランの目標・作成		
第 5 回	第3章	栄養ケアプランの実施 (2)	栄養教育・栄養カウンセリング		
第 6 回	第3章	栄養ケアプランの実施 (3)	実習		
第 7 回	第4章	症候への栄養ケア (1)	発熱・ビタミン欠乏症		
第 8 回	第4章	症候への栄養ケア (2)	下痢・便秘・褥瘡		
第 9 回	第4章	症候への栄養ケア (3)	糖尿病 高血圧 (実習)		
第 10 回	第5章	新生児期の栄養ケア	食事バランスガイド		
第 11 回	第5章	乳幼児期の栄養ケア	医療最新情報		
第 12 回	第5章	乳幼時期の栄養ケア			
第 13 回	第6章	回復を促す栄養ケア	食物アレルギー		
第 14 回	第7章	終末期の栄養ケア			
第 15 回	発表 (プレゼン)	総まとめ			
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>①授業内容に関する小テスト (振り返り) を実施するので復習しておくこと (5回程度)</p> <p>②総まとめの発表に向け、調べ学習を重ねておくこと</p> <p>③常に最新の医療に関するニュースや新聞に目を向けておくこと</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)		
評価方法	(割合)	評価基準
小テスト レポート 課題 (発表含む)	(40%) (20%) (40%)	秀：適切に問題点を指摘し、論理的かつ統合的に関連性を提示できている 優：指摘した問題点に対し、的確に関連性を提示できている 良：指摘した問題点に対し、関連性を提示できている 可：指摘した問題点に対し、一応の関連性を提示できている 不可：問題点の指摘や関連性の提示ができていない
テキスト (Textbook)		【書名】 Visual 栄養学テキスト 臨床栄養学 I 総論 本田佳子編集 【著者】 【出版社】 (株)中山書店 【出版年】 2016年3月版
参考書・資料等 (Supplementary Reading)		①Visual 栄養学テキスト 臨床栄養学 I 各論 本田佳子編集 ②参考資料は講義で配布する
備考 (Other Information)		①最新情報提供の為、メディアセンターに場所を移し、授業を実施することもある ②実習を取り入れるため、エプロン、三角巾、布巾、マスクを用意すること
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)		教務を通して連絡